

平成25年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(国土交通省25-⑦)

施策目標		21 景観に優れた国土・観光地づくりを推進する						担当部局名		都市局			作成責任者名		公園緑地・景観課景観・歴史文化環境整備室長 後藤 慎一				
施策目標の概要及び達成すべき目標		良好な景観及び歴史的資産は地域固有の資源であり、交流人口の拡大を生み、地域振興・活性化に繋がるものであることから、その保全及び活用を中心とした取組の支援を行う。						施策目標の評価結果		順調である		政策体系上の位置付け		6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化		政策評価実施予定時期		平成26年7月	
業績指標等		初期値		実績値					評価結果	目標値		業績指標等の選定理由、目標値(水準・目標年度)の設定の根拠等							
		目標値設定年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	目標年度		目標年度									
115 景観計画を策定した市区町村の数		315団体	平成23年度	152団体	206団体	267団体	315団体	364団体	A-2	550団体	平成28年度	全国市区町村を対象にした景観計画策定意向調査において、平成24年3月1日時点で、平成28年度末までに景観計画を策定する意向があると回答した市区町村数に基づき設定。 【社会資本整備重点計画第3章のフォローアップ指標(「景観計画に基づき取組を進める地域の数」と同一定義)】							
116 歴史的風致維持向上計画計画の認定を受けた市区町村の数		31団体	平成23年度	10団体	16団体	22団体	31団体	35団体	A-2	60団体	平成28年度	地域における歴史的な資産を活用したまちづくりを行う意向のある市町村について調査を行った結果、平成28年度末までに歴史的風致維持向上計画を策定する意向があると回答した市区町村数に基づき設定。							
達成手段(開始年度)		25年度行政事業レビュー事業番号		補正後予算額(執行額)		25年度当初予算額(百万円)		達成手段の概要				関連する業績指標等番号		達成手段の目標(25年度)(上段:アウトプット、下段:アウトカム)					
(1) 歴史的風致維持向上推進等調査(平成24年度)		254		-	103(99)	77		良好な景観や歴史的なまち並みの形成における資金面、人材面、制度面の共通課題に対応した取組提案の募集を行い、応募された提案の中から優れたものを選定し、提案者へ調査を委託する。国と地方公共団体、民間等が連携のもと、モデル的な調査、実証事業を実施し、その成果を全国に広めることによって、地域における良好な景観の形成や歴史的風致の維持向上の推進を図る。				115,116		-					
(2) 歴史まちづくり法の運用等改善に向けた施行状況検討調査(平成25年度)		新25-32		-	-	9		歴史的風致維持向上計画の策定要件や歴史まちづくり施策の実施主体に係る問題等、歴史まちづくり法の制度面・運用面の課題や発生要因を整理し、必要に応じて法令や運用指針等の改正を行うことにより、我が国における歴史的風致の維持向上の推進を図る。				116		-					
(3) 官民連携による良好な景観形成方策検討調査(平成25年度)		新25-33		-	-	10		今後の良好な景観形成のため、景観法による規制誘導等を行う際に、どのように民間企業の理解や協力を得るかが重要な課題であることから、民間の建築活動の実態を把握・分析し、景観形成における官民連携のあり方や官民連携の体制構築のあり方の検討を行い、民間企業の理解と協力を的確に得ながら、望ましい景観形成の推進を図る方策の構築を目的とした検討調査を実施する。				115		-					